

登別中学校 学校適正配置に関する地区別検討委員会

第5回教育環境部会 会議次第

日時 令和4年7月20日（水）18時00分

場所 登別市婦人センター講堂（2F）

1. 開会

2. 資料説明

- (1) 第2回及び第3回における意見交換のまとめ
- (2) 第4回における部会員意見のまとめ
- (3) まちづくり部会の議論の動向について

3. 意見交換及び協議事項

- (1) 登別中学校の今後のあり方と統合の是非について

4. その他

5. 閉会

第2回・第3回における 意見交換のまとめ

令和4年7月20日
登別市教育委員会

鷺別中学校 縣先生のお話（5/25開催）

統合による良い影響（メリット）

- 行事等が盛り上がり学級間の競争が生まれた。
⇒ 生徒のやる気が高まりクラスに一体感が
- 学習面でも切磋琢磨する環境が生まれた。
⇒ 統合前は和気藹々とし競争的環境に欠ける面も
- 部活動の選択肢が増加
⇒ 統合前の2部から5部へ
- 大きな集団でリーダーシップ面の成長が
⇒ 大人数のリーダーを経験することで成長

鷺別中学校 縣先生のお話（5/25開催）

統合による良い影響（メリット）

- クラス替えが生じ人間関係の幅が広く
⇒ 統合前はクラス替えが無くグループが固定化
- 集団の中で多世代間の人間関係を学ぶ機会が
⇒ 統合前は和気藹々とし上下の態度に欠ける面も
- 教員数の増加でグループ学習等が可能に
⇒ 統合前は多様な学習形態を採るにも限界が
- 教員数の増加で教員の資質向上にも効果が
⇒ 研修参加が容易となり指導方法の相談も可能に

鷺別中学校 縣先生のお話（5/25開催）

統合時の対応について

- 生徒同士は短期間に打ち解けられるもの
⇒ 保護者や教員の想像を超える速さ
- 旧中学の文化や部活動に取組み距離が縮小
⇒ 旧中学の文化により学校生活が活性化する面も
⇒ 統合で部活動が活性化し生徒同士の距離も縮小
- 授業以外の時間も共に過ごすなど丁寧にケア
⇒ 教員の目が常に行き届くよう配慮
⇒ 教員数の増加で統合後のケアも可能に

縣先生への質問（5/25開催）

- 統合で通学時間が長くなる印象があるが？
⇒ バス通学のため通学時間自体は大きく変わらず
通学バスのダイヤ調整で部活終了後も対応
- 内申点が大きく変化するのでは？
⇒ 絶対評価のため評価に大きな変化は生じず
- 校区拡大で行動が制約され友人関係が希薄になるのでは？
⇒ 友人関係が希薄になることはない
(バス等により校区内で広く活動)

縣先生との意見交換（5/25開催）

- 統合により様々な人との交流経験を持って、社会性を高められるのは良いこと
- 高校入学時に苦勞したという話もあり、集団生活を早い段階で経験するのは良いこと
- 人数が多いことで孤立を避けられる効果も
- 校区拡大でより多くの人々が地域を知る効果も
- 大きな集団に馴染めない子どもへのケアが必要
- 校区拡大で地域との繋がりが薄くなる寂しさも
- 余暇の送り迎えで保護者の負担が増える面も

旧温中同窓生との質疑応答（6/1開催）

●統合後に友達はすぐできたか？

⇒友達は比較的すんなりできた

⇒集団で友達を作る経験をして高校で生かされた

⇒大人数で遊ぶ経験を持つことができた

●統合時の友達づくりを心配する生徒が多いが？

⇒各学校の文化を互いに教え合い絆が生まれた

⇒旧温中生徒を受け入れる雰囲気があった

●小さな集団にいることの問題点は？

⇒固定的な人間と繋がることを求める傾向あり

旧温中同窓生との質疑応答（6/1開催）

- **学習面での変化はあったか？**
 - ⇒ 生徒間の競争もあって学習意欲は上がった
 - ⇒ 旧温中：生徒先生の距離が近く学習意欲上がらず
- **バス通学に問題は無かったか？**
 - ⇒ 通学に関しては特に苦にならなかった
 - ⇒ 友達と帰る経験ができて良かった
- **校歌が無くなることに淋しさは無かったか？**
 - ⇒ 淋しさは特に無かった
 - ⇒ 成人式の時には温小・温中の校歌を歌った

旧温中同窓生との質疑応答（6/1開催）

● 仮に温中と幌中の統合だったら？

⇒ 帰りが遅くなり部活はしてなかった可能性あり

⇒ 統合先が幌中でも変わりはなかったのではないか

● 統合は良かったか？悪かったか？

⇒ 体育授業が大きく変わった（団体競技が可能に）

⇒ 大人数で遊ぶ経験を持つことができた

⇒ 女子特有の人間関係を経験できたのは良かった

⇒ 集団で人間関係を作る経験を持つことができた

⇒ 高校入学時の戸惑いが大きかった（温中卒業生）

統合時の取組：良かった点と反省点

統合時の良かった点

- 生徒の交流会・生徒を紹介する取組

- ⇒ 交流時の経験が統合後の交友関係に繋がった

- ⇒ 事前交流会とともに統合時の安心感に繋がった

統合時の反省点

- 生徒会役員構成

- ⇒ 生徒会役員が既に決まっていた淋しさも

- 転校生への配慮が必要

- ⇒ (転校生がいる場合) 孤立感を抱く可能性あり

第4回における 部会員意見のまとめ

令和4年7月20日
登別市教育委員会

第4回における部会員による意見

岡崎委員による意見

- 小規模校の良さを登別中学校に感じているので、統合の必要性を強く感じてはいない。
- ただ、いつかは統合せざるを得ないと思っていたので、その時期が来たかという思い。
- 100%賛成にはならないが、これからの子どもたちのことを考えれば、統合の方向性で進んでいくのがよいのではないか。

第4回における部会員による意見

福富委員による意見

- 小規模校のデメリットを感じる部分はある。
- ただ、中学校が無くなれば、登別地区に住む人がより少なくなってしまうのではないか。
- 登別地区は地形的にも特殊なので、そうしたことも考えなければならないのではないか。
- 町への影響を考えても、現在は決めかねているというのが正直な感想である。

第4回における部会員による意見

斉藤委員による意見

- 統合には賛成。
- 統合には不安もあると思うが、子どもたちの適応能力は高い。
- 統合により、学習面、運動面、人間性を培う面でも必ず良い影響がある。
- 細心の注意で子どもたちのケアを行いながら、統合の方向性に進むべき。

第4回における部会員による意見

畠山委員による意見

- 統合には賛成。
- 高校入学前の段階から、少しずつ大きな社会に備えることが必要。
- 小さな集団には特有の閉鎖性があり、その中で苦しむケースもある。
- 旧温中同窓生の話から、統合時に特に大きな問題が無かったようである。

第4回における部会員による意見

飯尾座長による意見

- まちづくりの面で不安はあるだろうが、統合の方向性で進むのがいいのではないか。
- 子どもを増やすといっても、人口増加は一朝一夕に効果が上がるものではない。
- 町の活性化策はこれまでも行われてきたはずであり、いつまで学校の状況を見守ればいいのかという思いもある。

まちづくり部会の 議論の動向について

令和4年7月20日
登別市教育委員会

まちづくり部会の目的

- 登別中学校と地域の関わりや同校がまちづくりに果たしている役割を整理。
- 上記を踏まえ、仮に統合となった場合のまちづくりにおける影響を議論。
- 統合によるまちづくりへの影響を踏まえ、その影響を緩和するための補完策を議論。

まちづくり部会：これまでの議論

第2回まちづくり部会（R4.5.19開催）

- 事務局（登別市総務部企画調整グループ）より、登別中学校区の「まちづくり」について説明。
- 「まちづくり」での役割や統合による影響を議論。



- ⇒学校と地域の関わりの多さに驚く声あり。
- ⇒まちづくりや観光業界の雇用のためにも学校を存続させるべきとの意見あり。
- ⇒学校を残すための方策＝人口増加策を議論すべきとの意見あり。

まちづくり部会：これまでの議論

第3回まちづくり部会（R4.6.23開催）

- 観光まちづくり協議会、登別国際観光コンベンション協会、登別温泉旅館組合の関係者を招き意見交換。



- ⇒ 子どもたちを第一に考え、統合の方向性で進むべきとの意見あり。
- ⇒ （小学校ではなく）中学校の有無が定住地の選択に与える影響について議論すべきとの意見あり。
- ⇒ 地域への愛着を引き続き育むための方策を議論すべきとの意見あり。